

第二十五回帝國議會
衆議院

砂鑛法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十二年二月十五日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

大井 卜新君	木下 謙次郎君	丹尾 賴馬君
柏原 佐源太君	根岸 峯太郎君	荒谷 桂吉君
橋本 次六君	大西 五一郎君	世良 靜一君
豐増 龍次郎君	市田 兵七君	佐々木安五郎君
武満 義雄君		

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣男爵 大浦 兼武君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 押川 則吉君 農商務省參事官 織田 一君
農商務省鑛山局長 磯部 正春君 司法省參事官 齋藤十一郎君

司法省參事官 豐島 直道君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

砂鑛法案

○委員長(大井卜新君) 是カラ砂鑛法案ノ委員會ヲ開キマス

○根岸峯太郎君 此改正ノ要點、大體ノ說明ヲ當局者カラ願ヒタイト思ヒマス

○橋本次六君 我ハ大體ト云フヨリ、此法ノ精神若クハ方針ニ付テ御尋ラシタイ、此法ハ等シク鑛業ノ一部デアレバ、之ヲ鑛業法ノ中ニ含有シテモ出來ルコトデアアル、殊更ニ此法ヲ設ケルノ必要ハイヅレニアアルカ、鑛物營業及原理原則ニ於テ、是非別タナケレバナラヌ理由ガアルノデアアルカ、又餘リ煩雜ニナルカラ、便利ノタメニ此法案ニセラレタノデアアルカ、ソコヲ一ツ伺ヒタイ

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 是ハ唯今御尋デゴザイマスガ、全體之ヲ改正シナケレバナラヌト云フコトハ、御承知ノ通り此砂鑛法ト云フモノハ、明治二十六年ニ出來タ、ソコデ段々出來タ以來時勢ノ進歩ト云フモノハ、申スマデモナク現今ノ有様ニドウシテモ適合セヌ所ガ多クゴザイマス、故ニソレヘ以テ來テ不備ナル所ガ又餘程アル、ソコデドウシテモ之ヲ改正シタ方ガ當業者ノ便利デアリ、且改良スル道理ガアル、ト云フモノハ金鑛ト云フモノノ——先日本會デ大體ノ說明ヲ致シマシタガ、金鑛廢鑛、鐵滓ノ存在シテ居ル狀態ガ誠ニ其砂金ト能ク似テ居ル、故ニ之ヲ砂金ト看做シテ等シク砂鑛法ノ支配ニ屬セシメタイト云フノガ一ツノ精神デアリマス、ソレカラ外國人ト云フモノハ、鑛業法ニ於テハヤハリ日本帝國ノ法人ノ社員トナレバ、外國人ハヤハリ斯ウ云フモノヲ權利ガアルガ、是ニハサウ云フコトガ出來テ居ラナイ、是ハソレヲヤッテ置カナクテハ、外國人カラ何カ言ハレタキニモ仕方ガナイカラ之ヲ入レテ、ソレカラ砂鑛權ニ對シテ抵當權ト云フモノノ設定ノ途ヲ開イテ置カヌト、資金ノ融通ニ誠ニ困ルハナイカト云フコトモアリ、旁

斯ウ云フモノヲ便宜ニ判然トシテ置カナケレバ、鑛業ノ發達ヲ見ルコトガ誠ニ難イ、斯ウ云フ風ニヤッテ行カウト云フノガ此精神デアリマス、小サイコトハイロノゴザイマスカラ、御尋ニ從ッテ御答致シマス

○豐増龍次郎君 此砂鑛法案提出ノ大體ノ理由ハ承リマシタガ、之ニ付テ前以テ一應御尋ラシテ置キタイト思ヒマスルコトハ、彼ノ目下各地方デ段々盛ニ採掘サレマスル火山灰、此火山灰ト云フモノガ今ノトコロデハドウモ鑛業法ノ支配ヲ受ケマセヌシ、又砂鑛業法ニ支配ヲ受ケル譯ハナイシ、然ルニ全クアレガ土地ノ所有權ト一致スルカト云フト、サウモ往ケナイ、ドウモ彼ノ採掘權ヲ詰リ土地ノ所有權ノ一部ニシテ置クコトハ、大變鑛業ノ發達ノ上カラ面白クナイト思ヒマスシ、而モ彼ノ事業ヲ致シマスコトニ付テ大キナ資本主ガ火山灰ノアリマスル土地ノ數町若クハ數十町ニ互ッテ、地所ノ所有者ナドト特約ヲ致シマシテ、サウシテ此火山灰採掘事業ノ工場其他ヲ起シマシテ、盛ニ營業ウツスル際ニ當リマシテ、詰リ此鑛業法若クハ砂鑛法案ノヤウナモノニ於テ、物件トシテ一種ノ火山灰ニ對スル採掘權ヲ認メテ、其他採掘權ノ保護ノ法律ハナイノデアリマスカラ、其地所ノ所有者ナル者ハ、又他ニ競爭者ガアッテサウ云フ事業ヲ起スモノガアッテ、幾分カノ利益ヲ喰ハセマスルト、直チニ此地所ヲ轉賣シテ、前ノ特約ヲ無効ニ歸セシメルト云フコトデ、折角其事業家が盛大ニヤラウト計畫シテ居リマス事ガ、サウ云フヤウナコトノタメニ度々蹉跌ヲ來スコトハ、吾々ハマデ度々聞及ンデ居ル、是ハ實ハドウシテモ砂鑛法見タヤウナ工合デ、土地ノ所有權以外ニ一種ノ火山灰ノ採掘權ナルモノヲ認メテ、之ヲ物件トシテ砂鑛法同様ノ保護ヲ與ヘラル、ノガ、此事業ノ將來ノ發達上ニ非常ニ宜クハアルマイカト思ヒマスシ、ノミナラズ又政府ノ收稅ノ目的カラ致シマシタコロデ、今ノトコロデハ火山灰採掘ニ付テ別段課稅ガナイ、或ハ其收稅ノ一端ニハナリハシナイカト云フ考ヲ持ッテ居ル、之ニ付テハ政府ハ從來既ニ何等カ御取調ニナリ、此御考案ガ既ニ御出來ニナッテ居ルノデゴザイマス、或ハ又全ク砂鑛法ミタヤウナ工合デ、一種ノ物件トシテ採掘權ヲ認メルコトハ往カナイカ、弊害ガアルト云フ何カ特殊ノ理由ガアッテ、砂鑛法案ナド、共ニ、火山灰ヲ保護スルト云フヤウナ御提案ガ無カッタノデアリマス、其邊ノコトヲ一應承ッテ置キタイ

○政府委員(磯部正春君) 前ニ御尋ニナリマシタ砂鑛法ト云フモノヲ、鑛業法ノ中ニ入レナイガ、何カ特殊ノ理由ガアッテ入レナイノデアアルカ、或ハ手續ヲ簡易ニスル必要ガアルノデアリナイノデアアルカ、兎ニ角鑛業法ト砂鑛法ト區別シタノハ何ノ故デアアルカト云フ御尋ガアリマシタガ、此鑛業法ト砂鑛法ト云フモノハ、御説ノ通り大體ニ付キマシテハ能ク分離シテ居ル性質ガアルノデゴザイマス、日本デモ最初明治六年太政官ノ布達ノ時ニハ、此鑛業法ニ入ッテ居リマス法律ト、砂鑛法ノ中ニ入レテアリマスモノト、區別ヲシテ居ラヌノデアリマス、然ルニ間モナク砂鑛ト云フモノヲ其中カラ抜イデシマヒ、サウシテ鑛業ト云フモノト砂鑛ト云フモノト別別、法律上デ分界ヲ付ケルヤウニナッタ、何ガ故ニ分界ヲ付ケルヤウニナッタカト云フト、詰リ砂鑛ト云フモノハ彼ノ鑛業ト違ッテ、土地所

有權トノ關係ト云フモノガ餘程普通ノ鑛物ト工合カ違フ、土地所有權トノ關係ヲ有ッテ居ルモノデアリマスカラ、土地所有者ニ成ルベク此權利ヲ持タシタイト云フ區別ガ砂鑛ノ方ニ付テ居ルノガ即チ鑛業トノ關係ニ於テ違フテ居ルコトト思フ、ソレデ鑛業法ノ方ハ未ダ探掘セザル鑛物ハ國ノ所有トス、斯ウ云フ風ニ定メテアルノデゴザイマス、砂鑛ノ方ハサウセズ、土地所有者ニ重キヲ置イテ、土地所有者ニ優先權利ヲ認メル、明カニ土地所有者ノモノトハ書イテアリマセヌガ、今日マデノ取扱アリテハ土地所有者ガ優先權利ヲ有シテ居テ、自分ガ掘リタイト思ヘバ掘レル、他人ガ其土地ニ向テ掘ラウトスレバ探掘料ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトデ、鑛物トハ趣キ異ニシテ居リマス、之ヲ今日鑛業法ニ入レルト云フコトニナレバ、吾々ノ考テシテハ地上權者ガ今マデ持ッテ居タ權利ヲ鑛業法ニ入レルト云フコトニナレバ、法律テ取ルコトハ法律テ取ルコトデ宜イカモ知レマセヌガ、免ニ角今日此土地所有者ガ持ッテ居タ權利ヲ鑛業法ニ入レルコトニナレバ、取上ゲルト云フ結果ニナルノデ、ヤハリ是マデ通り土地所有者ノ權利ヲ尊重シテ、砂鑛法ヲ出シタノデアリマス、尙御説ノ通りニ成ルベク砂鑛ト云フモノハ鑛業ト違フテ利益ノ少ナイモノデアリマスカラ、手續等モ簡易ニシタイ、法律ノ規定ニ於テモ出來ルダケノ便宜ニ、鑛業法トハ幾ラカ規程ノ趣旨ヲ違ヒタイ、斯ウ云フ腹ハ無論ゴザイマスノデ、旁々今マデ通りノ鑛業法以外ニ設ケテアルノデゴザイマス、ソレカラ次ニ御尋ニナリマシタ火山灰ノ御話デアリマシタガ、實ハ砂鑛法ノ中ニハ火山灰ハ其地表淺クアルモノハ、總テ一括シテ規定スレバ、規定ノ出來ナイコトハナイノデゴザイマス、出來ナイコトハナイノデゴザイマス、土地所有者トノ關係テ話合ノ付クベキモノデアレバ、法律テ括ルト云フコトハイロ／＼ナ差支モ起ッテ來ルシ、土地所有者權者ヲ束縛スルコトニモナツテ來マスルノデ、是迄土地所有者ノ關係デドウナリ斯ウナリ附イテ居ルト云フモノハ、非常ナル差支ノナ限ハ、此砂鑛採取法ノ中ニ入レテ規定スルコトハ省イテ居リマス、是迄ノ習慣ナリ遺來リナリヲ尊重シテ、能ク／＼困デ來ルマデハ入レマイト云フ積リテ、此砂糖法ノ中ニハ火山灰ガ入ッテ居リマセヌ

○橋本次六君 此金ナリ鐵ナリ錫ナリ、此三種ノモノニ付テ外國人ノハドウナルノデスカ
○政府委員(磯部正春君) 其通りデゴザイマス
○橋本次六君 此金ナリ鐵ナリ錫ナリ、此三種ノモノニ付テ外國人ノハドウナルノデスカ
○政府委員(磯部正春君) 外國人問題ハ詰リ此砂鑛法ガ出來ルト、其範圍ダケノモノニ付テ、外國人ノ當然得ルモノ云々ト云フノデ、別ニ深い意味ハゴザイマセヌ
○橋本次六君 他ノ商業ト狀態ガ——總テ其狀態ガ異ルカラ、一定ノ鑛業法ニ入ルトコロモアルト云フ事情モアルノデスカ
○政府委員(磯部正春君) サウデゴザイマス
○豐増龍次郎君 私ガ御尋シタ趣意ハ、火山灰ノ探掘權ナルモノヲ砂鑛法ニ依テ是ト同一ニ保護シテ貰ヒタイト云フ必ズシモ趣意ハナイノデ、詰リ此砂鑛法ニ依テ火山灰ヲ同一ニ規定スルコトハ困難デアラウト思ヒマスカラ、詰リ是ト同一ニ規定シテ貰ヒ

タイト云フ趣意デハゴザイマセヌガ、詰リ此砂鑛法ノ主意ヲ擴張シテ——現在所有權ノ一部ニ屬シテ置カレナイコトハ明白ナコトデアラウト思フ、サウスレバ所有權以外ニ火山灰ノ探掘權ナル一種ノ權利ヲ認メテ、此事業ノ發達ヲ計ルト云フコトハ、ドウシテモ必要デアラウト思ヒマスカラ、砂鑛法案ニ之ヲ一緒ニ規定シテナイト云フコトヲ私ハ非難スル譯デハナイガ、是ハ此儘差支ゴザイマセヌカ、是ト同種ノ意味ニ於テ、即チ此火山灰ヲ一種ノ物件ト見ル上ニ於テ別ノ規定ヲ將來ニ於テサレヤウト云フ御考ハナイノデアリマスカ否ヤト云フコトヲ、御尋シタイノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 御尋ニ御答致シマスルガ、ソレハ調査シテ居ルノデゴザイマス、デ何時ドウ云フ風ナ法律ニナツテ出マスト云フコトヲ、今カラ御約束モ何モ出來ナイノデゴザイマスルガ、免ニ角數年來斯ウ云フ種類ノモノニ付テ、一定ノ法規ヲ設ケル必要ガアルト思フテ、ソレニ付テ各地方ノ地方廳ニ於テ、從來取扱ッテ來タ取締規則ガアルトカ、慣行デアルトカ、實際ノ狀況デアルトカ云フモノヲ現ニ調査シ、アルノデゴザイマス、ソレハ何レ或場合ニ於テ一種ノ法律ヲ設ケナクチャナラヌト思ウテ居リマスガ、今ハ調査中デゴザイマスカラ何トモ……

○柏原左源太君 チョット今ノ二類似シタ質問デゴザイマスケレドモ、アノ「アルミニウム」ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、鑛業法中ニ入ッテ居ラヌノデスカ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○政府委員(磯部正春君) 入ッテ居リマセヌノデゴザイマス、デ今日デハアレニ對シテ法規ニ於テ據ルベキモノガナイノデゴザイマス

○柏原左源太君 サウスルト出願スルニハ何ノ規則ニ據リマスカ

○政府委員(磯部正春君) 是ハ各地方デ現在設ケテ居ル取締法ト云フモノニ付テヤルヨリ外ニ途ハナイト思ヒマス、デ大體ノ趣意ト致シマシテハ、將來ニ於テハ一定ノ法規ニ據ラナクテハナラヌト思ヒマスガ、今日ハ規定ノ中ニ入レテ居リマセヌノデアリマス

○柏原左源太君 此砂鑛法ナルモノハ、是ハ新領土樺太、臺灣ノ方ニハ實施サレナイノデスカ、或ハ別ニ法規デモ出來テ居リマスカ

○政府委員(磯部正春君) 御答致シマス、臺灣ニハ及ンデ居リマセヌ
○柏原左源太君 樺太ニハ……

○政府委員(磯部正春君) 樺太モ別デゴザイマス
○柏原左源太君 此支配ヲ受ケナイノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 左様デゴザイマス、是ハ鑛業法砂鑛法ノミナラズ、總テノ法律ノ上カラ斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○柏原左源太君 前年樺太公報トカ云フモノガ出來テ、ソレニ依テ見ルト何カ砂金採取法トカ云フ……

○政府委員(磯部正春君) ソレハ別ニ出デ居タト思ヒマシタ……樺太ニ於テハ鑛業法ニ類似シタモノデ、樺太鑛業令ト云フモノガ特ニ出デ居リマシテ——全然獨立ノ法律ガ樺太ニ在ルノデゴザイマス、ソレカラ砂鑛採取法ノ方ハ、現行ノ砂鑛採取法ヲ樺太ノ一部ニ施行スルト云フ勅令ガ出デ居リマス

○豐増龍次郎君 本案ハ他ノ鑛業法竝ニ前ノ砂鑛採取法、是等關係ノ法律ヲ取調

ベマシテ詳細ニ審議スル必要ガアルモノト私ハ思料致シマス、然ルニ是ニ關係スル鑛業法其他ノモノハ、今日御配付ニナッタヤウナ次第デ、未ダ其對照モ出來テ居リマセヌノデ、一應今日ハ是テ散會ヲ致シマシテ、延期ヲスルヤウニ致シタイ

○荒谷桂吉君 此改正法案ヲ本期議會ニ出サレルヤウニナッタハドウ云フ都合デアリマスカ、現在ノ鑛業法ハ何カ其所ニ困難モアルト云フ實況ガアルノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 御答致シマスガ、此改正法案ヲ本議會ニ出サセウニナッタ一番主タル最近ノ直接ナ原因ハ、第一條ノ二項ニ在ルノデアリマス、ト云フノハ御承知ノ通り廢鑛又ハ鑛滓ト云フモノヲ國ノ所有ニスル、斯ウナッタノハ鑛業法ノ——三十八年改正ノトキニ變ヘタ鑛業法ノ第三條ニ「未タ探掘セサル鑛物ハ國ノ所有トス」トアリマシテ、鑛物ナル文字ノ下ニ括弧シテ「廢鑛鑛滓ヲ含ム」トアル、故ニ未タ探掘セザルモノハ國ノ所有ニシテ、他ノ鑛物ト同様ニ取扱フコト、ナッテ居リマス

○根岸皓太郎君 ヤハリ此砂鑛法ガ施行ニナルト、樺太デモ直チニ之ヲ適用スル譯ニナリマスカ

○政府委員(磯部正春君) 樺太ノ方デハ別ニ勅令ヲ出サナケレバ施行スルコトガ出來ナイト思ヒマス

○根岸皓太郎君 是ガ出レバ自然前ノ採收法ハ廢スル譯ニナリマスカ、ソレデモヤハリ廢止ニナッタモノヲ樺太ニ行フ譯ニナルノデスカ

○政府委員(磯部正春君) 勅令ガ出ルマデハサウナルダラウト思ヒマス

○世良靜一君 今ノ問題トハ違ヒマスガ、此砂鑛ト云フモノハ一體今マデ產出ノ高ガドウ位ゴザイマスカ

○政府委員(織田一君) 先刻ノ御尋デスカ、茲ニ明治四十年法律第二十五號ニ「法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ左ノ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得」日本ノ法律全部又ハ一部ヲ施行スルトキハ勅令ヲ以テ定ムトアリマスカ、勅令ガ出ルマデハ施行サレナイト思ヒマス

○根岸皓太郎君 私ハ尙ハハッキリ御答ヲ得タイガ、現行ノ砂鑛採收法ガ廢止ト同時ニ、此改正法案ガ樺太ニ施行サレルモノデアルカ、又樺太ノ方デハ前ノモノヲ採用スルカ、其點ヲハッキリシテ置カナケレバ、之ヲ定メル上ニ影響スルト思ヒマスカ……

○政府委員(磯部正春君) 樺太ニ此砂鑛法ヲ適用スルニ付テハ特別ナ勅令ガ出テ、初メテ施行スルコトガ出來ルコトニナリマス、隨テ此改正法案ガ議會ノ協賛ヲ經テ法律トナッテ出マスモノト假定スレバ、此改正法律ヲ樺太ニ適用スルカセヌカト云フコトニ付テハ、又別ニ勅令ガ要ル譯デアリマス、別ナ勅令デ此度ノ新シイ改正ノ砂鑛法ヲ樺太ニ適用スルト、斯ウ云フ勅令ガ出ルマデハ前ノ——即チ現行ノ砂鑛採收法ガ樺太ニ適用サレル、特別ナ勅令ガ出ルマデハ、此改正法律ト云フモノハ樺太ニ適用サレヌト云フコトニナルト私ハ考ヘマス

○根岸皓太郎君 尙伺ヒマスガ、サウスルト此方デヤ廢シテモ樺太ノ方デハ前ノ砂鑛採收法ヲ施行シテ居ルト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(磯部正春君) ソレヲ施行スルカセヌカト云フコトハ勅令ヲ出シテ定メルノデ、又樺太廳ノ考ニ依ルコトデモゴザイマスカ、是ハ私共カラ御答スルコトハ出來マセ

ヌ、之ヲ定メルノハ吾ミデ定メルデアリマセヌ、他ノ方デ定メルデアリマスカ……

○根岸皓太郎君 コッチデ廢シタモノヲ樺太デ施行シテ居ルト云フコトハ出來ルデアリマスカ

○政府委員(織田一君) 出來マセウト思ヒマス、尙申上ケマスガ、此鑛業條例ト云フモノハ三十八年ニ鑛業法ト改正ニナッテ變ッテ居リマス、砂鑛採收法ノ施行規則ハドウカト云フト、鑛業條例ノ施行細則ヲ準用スルコトニナッテ居リマス、サウシテ鑛業條例ハ三十八年ニ鑛業法改正ト同時ニ無クナッテシマッテ居リマス、然ルニ砂鑛採收法ニ付キマシテハ、鑛業條例ノ施行細則ヲ準用スルコトニナッテ居リマスカ、詰リ死ンダモノヲ使ッテ居ル譯ニナッテ居リマス、此關係ハ恰モ今申シマシタ樺太ノ砂鑛採收ニ出テ來マセウカト思ヒマス

○世良靜一君 全體ノ砂鑛高ニ付テ言ヒマス、金ノ產出高ト銀ノ產出高ノ割合ガ分リマセウカ

○政府委員(織田一君) 御手許ニ參考ヲ上ゲル積リデ置イタノデスカ、チヨット今日ハ——大體デ申シマスレバ金ハ四百万圓デアリマス

○荒谷桂吉君 尙伺ヒマスガ、本法ノ第一條第二項ニ「金鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其存在狀態砂金ト類似ス云々」トアリマスガ、此外ニ於テ廢鑛鑛滓デ金山ヲ何シタ例ガアリマスカ、是ハ鑛業法ニ定メタ部分ガ不用ニ屬スルト云フ結果デアリマスカ

○政府委員(織田一君) ソレハ金鑛ノ廢鑛鑛滓デケガ、此鑛業法ニ除外サレルダケデアリマス、アトノ各種ノ鑛業法ニ規定シタル鑛物ハ是迄通りデアリマス

○委員長(大井卜新君) ソレナラバ是デ今日ハ閉會致シマス

午前十一時十五分散會

明治四十二年二月十五日印刷

明治四十二年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局